

細 密 の 世 界 で 魅 了 し た

七宝の美

2022年 4月29日 祝 7月24日 日

〔開館時間〕午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

〔休館日〕毎週月曜日（祝・休日の場合開館、翌平日休館）

〔入館料〕一般1000円（800円）、高・大学生シニア65歳以上800円（600円）、

中学生600円（400円）、小学生以下無料

*障がい者手帳をお持ちの方700円 *（）内は20名以上の団体料金

〔後援〕愛知県教育委員会、名古屋市教育局、名古屋市立小中学校PTA協議会、あま市〔協力〕あま市七宝焼アートヴィレッジ





無線七宝風景図花瓶
榎田廣助 明治24年～昭和12年



七宝菖蒲図花瓶
太田吉三郎 明治時代中期～後期

七宝の美

細密の世界で魅了した

明治時代に進められた殖産興業政策の下、多くの美術工芸品がつくられ、それらの輸出で獲得された外貨は近代国家建設の礎となりました。その一つである七宝焼も、かつて海を渡ったものが少しずつ里帰りすることで、技と美が再発見されつつあります。国内では近年、東京の湊川惣助、京都の並河靖之のようにブランドとして銘を入れた作品は、注目されるようになってきました。しかし、名古屋や海部郡七宝町（現・あま市）でつくられた尾張七宝は「銘を入れなくても作品の出来栄を見れば、誰がつくったかは明らかに判る」との考えが強く、職人たちの間に記銘する習慣が浸透しませんでした。

国内では東西の「両ナミカワ」に比べると、無銘の尾張七宝はその素晴らしさに反して、正當な評価が得られていたとはいえません。逆に海外では有銘・無銘にかかわらず、質の良い日本の七宝焼はすべて高く評価されているのです。



七宝窓絵花蝶図花瓶
並河靖之 明治時代



磁胎七宝花鳥図花瓶
川本樹吉 明治時代前期



赤透七宝藤図花瓶
塚本彦吉 明治時代後期



刻胎七宝鯉図花瓶
小笠原周造 明治時代後期頃

*一部展示が替わる場合があります。

関連イベント・講演会

講演会「名もなき七宝の名品」

明治時代の尾張七宝の技術と変遷について、ユニークなエピソードを交えてお話しいたします。

- ◎日時：2022年5月21日(土) 13:30～15:00
- ◎講師：S. マッシュ氏(明治七宝研究家)
- ◎定員：30名(要事前申込)
- ◎申込方法：4月29日(祝)よりお電話にて先着順
- ◎参加費：無料(要別途入館料)



関連イベント・体験講座

七宝焼体験講座「わたし色が溶け合う七宝」

無線七宝の技法で釉薬を盛り上げ、世界でひとつだけの爪切り(キーホルダー)を制作します。

- ◎日時：2022年6月19日(日) 13:30～15:00
- ◎指導：あま市 七宝焼アートウィレッジ
- ◎定員：28名(要事前申込)
- ◎申込方法：4月29日(祝)よりお電話にて先着順
- ◎参加費：一般 3,500円(材料・焼成費・入館料込み)
- ◎バスポート会員 2,500円(材料・焼成費・参加費込み)



イメージ

ギャラリートーク

当館学芸員による作品解説

5月7日(土)、5月22日(日)、
6月4日(土)、6月18日(土)、
7月2日(土)、7月16日(土)

- ◎場所：美術館展示室
- ◎時間：13:30より1時間程度
- ◎事前申込不要、要入館料



年間バスポート
会員募集中!
年会費4,000円
(更新3,000円)

*各イベントの詳細につきましてはお問い合わせください。



公益財団法人
横山美術館
Yokoyama Art Museum

〒461-0004 名古屋市東区葵 1-1-21
TEL.052-931-0006 FAX.052-931-0008
<http://www.yokoyama-art-museum.or.jp>



次回企画展

20世紀のアメリカを代表する画家の
作品を立体化した造形物

「ノーマン・ ロックウェル」展(仮)

2022年8月5日(金)～11月6日(日)

【交通のご案内】

名古屋市営地下鉄東山線
「新栄町」駅(1番出口) 徒歩4分
名古屋市営地下鉄桜通線
「高岳」駅(3番出口) 徒歩4分
*専用の駐車場はございません。お車でのご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。



100円割引
※この割引券は、この割引券の提示により、本館で観覧料を払う際に有効です。
有効期限：2022年12月31日まで
発行：横山美術館